※令和４年度以降入学生用

学校番号	1017

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「現代の国語」　（第一学習社）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア　四訂版　（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・毎回の授業においては、課題や設問に対し、自ら考え、他者と話し合いながら、自身の考えを確立できるように取り組もう。
・様々な文章に触れることで、「読むこと」の能力を身につけよう。
・スピーチや意見を伝えるために、「書く能力」を身につけよう。
・家庭学習や課題にも積極的に取り組もう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）生涯にわたる社会生活を充実させるために必要な基礎的な国語の知識や技能を身に付ける。
（２）他者との関わりの中で自身の考えを深めるとともに、論理的に考える力や表現力を磨き、自らの思いを互いに伝え合う基礎的な力を身につける。
（３）言葉がもつ価値に気づき、思考力を伸ばし適切な言語感覚を身に付ける。そして、国語を尊重し、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活を充実させるために必要な基礎的な国語の知識や技能について、その特質を理解し、適切に使っている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や表現力を磨き、自らの思いを互いに伝え合う基礎的な力を身につけようとしている。	言葉がもつ価値に気づき、思考力を伸ばし適切な言語感覚を身に付けようとしているとともに、国語を尊重し、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	作品の主題について理解し、自己に照らして考える。 ［教材］ 「本当の自分」幻想	a：主張と論拠、個別と一般化、推論など情報と情報の関係を理解している。 b[読]：文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶことができる。 c：進んで文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶとともに、調べたことを整理して、説明資料にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	老婆の語る論理が下人に与えた影響を読み取る。 ［教材］ 羅生門	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、読書の意義と効用を理解できる。 b[書]：文章を読み、老婆の弁明と「引剝ぎ」について自分の考えを文章にまとめて発表できる。 c：時代背景や登場人物の立場について積極的に理解を深めようとし、自分の考えを確立しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート 発表	ワークシート 振り返りシート
2学期	スピーチの実践と評価方法について学ぶ。 ［教材］ スピーチで自分を伝える	a：スピーチの準備、原稿の作成、留意点、聞き手の態度などを理解できる。 b[話・聞]：自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し実践できるとともに、他者のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶことができる。 c：今回の学習内容を積極的に社会生活で活用しようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表	ワークシート 振り返りシート
	文章の対比関係について学び、日本の水文化の特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ［教材］ 水の東西	a：言葉には認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 b[読]：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 c：進んで筆者の叙述方法について理解しようとするとともに、自分の文章作成に活用しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」の根拠のありかを読み取る。 ［教材］ 夢十夜	a：文章の効果的な接続の仕方を把握するとともに、読書の意義と効用を理解できる。 b[書]：「第一夜」及び「第六夜」の「夢」について、本文をもとに「自分」の根拠を文章にまとめ発表できるとともに、それぞれを紹介するコラムを書いて発表できる。 c：進んで、夏目漱石の多作品について読書活動を行い、その作品を他者にプレゼンテーションを行うことができる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート 発表	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を抑える。 ［教材］ フェアな競争	a：主張と論拠、個別と一般化、推論など情報と情報の関係を理解している。 b[読]：文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え対比の構造を手掛かりとして、要旨を把握する方法を学ぶことができる。 c：筆者の主張や意見のいずれかを取り上げ、賛否の両面から考えることができる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	人間の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。 ［教材］ 鏡	a：比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 b[書]：作品の内容や筆者の主張を読み取り、主人公の生き方について、自分自身の経験を交えながら考えを深め、表現することができる。 c:積極的に他者の意見を尊重するとともに、作者の世界観を理解しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	プレゼンテーションの実践と評価方法について学ぶ。 ［教材］ 理想の修学旅行をプレゼンする。	a：プレゼンテーション実践のための情報収集、構成、スライドの作成や練習などの事前準備の必要性を理化できる。 b[話・聞]：自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるためのの構成やスライドの作成について理解し実践できるとともに、他者のプレゼンテーションを聞き取り、評価する方法を学ぶことができる。 c：今回の学習内容を積極的に今後の社会生活で活用しようとしている。	ワークシート	ワークシート グループワーク 発表	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間